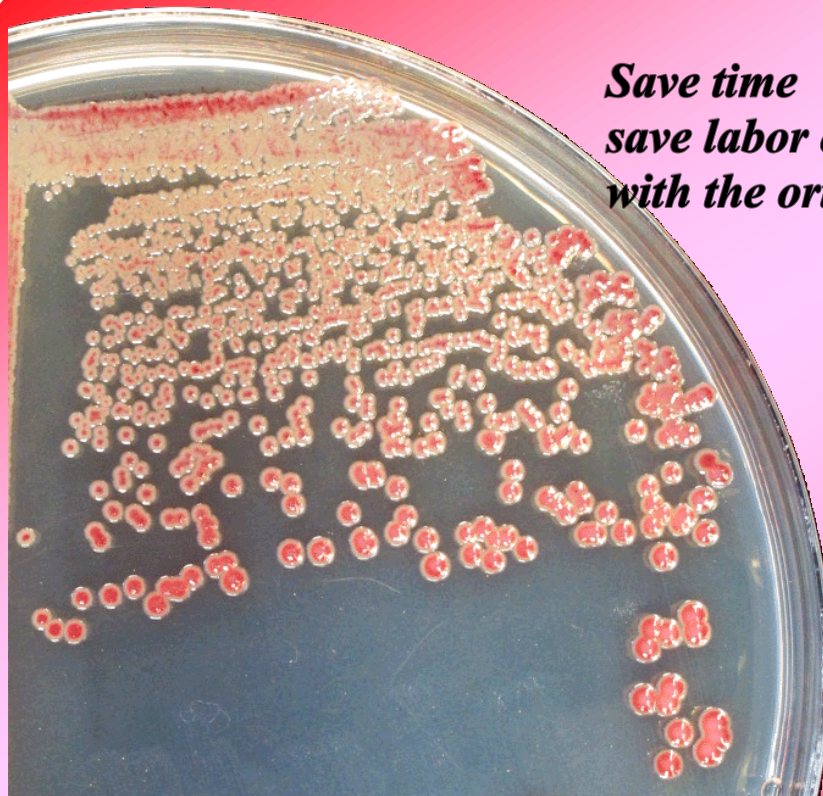


多剤耐性Acinetobacterのスクリーニング
クロモアガー アシネトバクター



*Save time
save labor costs
with the original CHROMagar*

培養条件: 37°C, 24時間

用途

多剤耐性アシネトバクター検出用選択分離培地

特長

- ★ 多剤耐性アシネトバクター(MDRA)が特徴的な赤色で発育します。
- ★ 3剤(IPM、AMK、CPFX)耐性のMDRAを選択的に分離できます。
- ★ 主としてA. baumannii の分離や推定を目的とした酵素基質培地です。



クロモアガー アシネトバクター (MDRパック) クロモアガー MDRA スクリーン培地

はじめに

MDRA (Multi-Drug Resistance *Acinetobacter*) は、*Acinetobacter* のうちアミノグリコシド系、カルバペネム系、フルオロキノロン系の3系統の薬剤に対して耐性を示すものと定義されています。

MDRAは、2011年から感染症法上5類感染症に指定され、届出が必要となっています。届出は、感染症が疑われ本来無菌的材料(髄液や胸水など)から検出された場合や、喀痰、膿汁などから分離され、感染症の起因菌と判定された場合、死亡事例が認められた場合です。

本菌による感染症では治療が難渋化します。院内感染対策も厳重に講じなければなりません。そのためにもMDRAスクリーニング培地の要求は高いと考えております。本培地はMDRAが特徴的に赤色コロニーを形成することで簡便かつ選択的にスクリーニングできます。その他の微生物は、発育が阻止されるか、他の色調(青色など)のコロニーを形成するため鑑別が容易です。

調製方法

1. 基礎培地(AC92(B))32.8g と アシネトバクター サプリメント(AC92(S))4mLを 精製水 1Lに懸濁させ、十分に膨潤(30分間)させ、攪拌しながら加熱溶解する。100°C以上加熱しないこと。
2. 40~50°Cまで冷却する。
3. MDR選択剤(CR102)に滅菌水5mLを加えて溶解し、上記溶解した基礎培地1L当たり5mL(全量)を添加する。
4. シャーレに分注し、固化する。
* 培地色は淡黄色~淡赤色になります。

組成(g/L)

ペプトン・酵母エキス混合物	…	12.0 g
塩化ナトリウム	…	4.0 g
酵素基質混合物	…	1.8 g
寒天	…	15.0 g
脂肪酸誘導体混合物(液体)	…	4.0 mL
β-ラクタム系抗生物質混合物	…	微量
pH 7.0±0.2		

培養条件

37°C、18~24時間

培養結果

菌種	培養所見
MDRA	赤色
その他の <i>Acinetobacter</i> 属	抑制される
グラム陰性菌	抑制される 一部の多剤耐性を示す腸内細菌は青色を呈する
グラム陽性菌	抑制される
真菌	抑制される

	製品コード	製品名	容量	貯法
基礎培地	49958-06	クロモアガー アシネトバクター 基礎培地	5L用	15~30°C
添加試薬	49958-07	クロモアガー アシネトバクター サプリメント	5L用	15~30°C
添加試薬	49958-08	クロモアガー アシネトバクター MDRサプリメント	1L用×5	2~8°C
生培地	72118	クロモアガーMDRAスクリーン培地	10枚	2~8°C

本培地はCHROMagar社(仏)の粉末を使用しています。
CHROMagar™はDr.Rambachの登録商標です。



関東化学株式会社
試薬事業本部 試薬部

103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03) 6214-1090
541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目3番11号 (06) 6231-1672
812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目2番3号 (092) 414-9361
<< <https://www.kanto.co.jp> >>